

CULTURAL CITY  
NARRATIVE OF A

都市のカルチュラル・ナラティブ  
<http://art-c.keio.ac.jp/~artefact>



寺院の文化と現代における活動を学ぶ見学会

# 泉岳寺を訪ねる

2023年3月10日 [金] 13:00-15:00

## プログラム (予定)

ガイドツアー「泉岳寺の境内を知る」13:00-14:30

本堂拝観、赤穂義士墓地参拝、赤穂義士記念館見学

トーク「泉岳寺の文化と近年の活動」14:30-15:00

講師：牟田賢明（泉岳寺知客兼受処主事）

モデレータ：本間友（慶應義塾大学アート・センター）

対象：どなたでもご参加いただけます。要事前申し込み。

定員：20名

お申込方法：3月1日(水)までにホームページ上の申込みフォームからお申込みください。応募多数の場合は抽選(3/2までにメールでご連絡)。

お申し込みはこちらのホームページから ⇒ <https://bit.ly/3lpEIN4>

参加費：800円（赤穂義士記念館および墓所の観覧料として）

場所：泉岳寺 〒108-0074 東京都港区高輪 2-11-1

都市とともに歴史を重ね、現代に活動する寺院は、都市が蓄積する歴史的・文化的地層を見通す窓であり、過去から現在へと繋がる都市の物語の証言者でもあります。

港区には、江戸時代からの文化財を継承する寺院が所在し、大きく変化する社会や、人々の日常と関係を結びなおしながら活動を続けています。

本見学会では、1612年に徳川家康によって創建された泉岳寺を訪ねます。ガイドツアーとトークを通して、寺院の文化や現代における活動を学びます。

## お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター（本間）

03-5427-1621 [cunary@art-c.keio.ac.jp](mailto:cunary@art-c.keio.ac.jp)

主催：「都市のカルチュラル・ナラティブ」プロジェクト実行委員会、慶應義塾大学アート・センター 協力：泉岳寺  
助成：令和4年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業 ※ プログラムは予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください





歌川国貞「忠臣蔵焼香ノ圖」(Collection of British Museum, 1906,1220,01107,1-3, AN437932001)

## 泉岳寺

1612年に徳川家康により外桜田に創建された泉岳寺は、寛永の大火（1641年）で焼失した後、赤穂浅野家等の大名により現在の高輪の地に再建されました。その縁で赤穂義士が当寺に埋葬されることとなりました。また幕末までは曹洞宗江戸三学寮の一つとして学僧200名ほどが参学する叢林でありました。昭和20年5月の空襲では伽藍のほとんどが焼失しましたが、義士墓所は戦災を免れ、元禄当時のままです。

## 赤穂義士祭

毎年、春と冬に赤穂義士祭を開催しています。春は、4月1日から7日まで、浅野長矩公と赤穂義士の切腹に因んだ催しが行われます。午前にはお殿様・義士供養の法要があります。午後には本堂にて、年に一度この7日間のみ、大石良雄念じ佛「摩利支尊天」御開帳や、勝海舟他幕末三舟の墨書等をお見せする、寺宝展を開催します。冬、12月14日には、義士本懐成就を記念して、墓前供養や献茶式が行われ、義士行列などが観られます。境内や門前には約70ほどの出店が並びお祭りを賑わせます。

現代文化の発信地、国際都市として知られる港区は、同時に、多くの寺社仏閣や史跡、そして歴史ある企業が所在する歴史文化都市でもあります。このダイナミックな時間軸をもつ都市文化の眺望を、一層明らかにするためのプロジェクトが、「都市のカルチュラル・ナラティブ」です。

今昔の文化資源や、文化を巡る学術的な成果を相互に連結し、文化の物語（カルチュラル・ナラティブ）を形づくることによって、現代・将来の芸術文化活動を支え、文化観光の深化を図ります。さらに、日本の文化に寄せられる国際的な関心に対応することを目指しています。

  [keio.artcenter](https://www.facebook.com/keio.artcenter) #CulNarra

慶應義塾大学アート・センター  
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
Tel: 03-5427-1621 Fax: 03-5427-1620  
cunary@art-c.keio.ac.jp